



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30~13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



世界に希望を生み出そう

RI会長：ゴードン R. マッキナリー
South Queensferry RC (スコットランド)

会長 小久保 和子 ・ 会長エレクト 川崎 堯信 ・ 副会長 小澤 孝延 ・ 幹事 小澤 孝延

第58巻 第2号

通巻 第2682号

2023. 7. 26発行

第2681回 2023年7月12日例会報告

【出席報告】

SAA 福田 守

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
7/12	22	16	6	72.73		
6/28	24	21	3	87.5	0	87.5
会員総数 22名 (名誉会員 3名 ・ 出席免除会員 1名) 通算出席率 84.06%						

【会長挨拶】

会長 小久保 和子



点 鐘 会長 小久保 和子

ソング 我等の生業

お客様 第10グループ
ガバナー補佐 鈴木 孝様
(白井RC)

【ニコニコボックス】

◇一年間よろしくお祈いします。

会員増強委員長 増田 繁

◇インターアクトよろしく

青少奉仕委員長 笹川 英一

皆さんこんにちは。まずは九州北部で記録的な大雨により川の氾濫や土砂災害が相次いでおります。福岡・久留米市の田主丸町(たぬしまるまち)では土石流が発生し、住民ら14人が巻き込まれ、8人が救助されました。残る6人も救出されましたが、1人の死亡が確認されました。

田主丸中央病院では1階の患者さん約50人を2階へ垂直避難をさせた直後にエレベーターが使用不能になってしまったそうです。素早い判断が良かったと思えました。

また、福岡・添田町(そえだまち)では、70代のご夫婦が土砂崩れに巻き込まれました。その後、夫は救助され軽傷、妻はその場で死亡が確認されました。

今回の大雨で、これまでに6人が死亡、3人が行方不明で安否がわかっておりません。早期の救助を願っております。

続きまして2023-24年度 鶴沢ガバナーのあげている2790地区テーマは『Bring up Engagement』エンゲージメントを育もうです。エンゲージメントとは、「地域の方々との

関わりを深めること、共に取り組むこと、地域の課題に対して主体的に取り組むことを意味します。そして、地域の皆様との対話を重視し、ニーズや意見をしっかりと受け止めることで、より具体的な活動を展開していくこと」と書かれておりました。

私たちのクラブは、4年ぶりになると思いますが8月19日土曜日にふれあい夏まつりに参加することになりました。地域の方々や子どもたちと交流することにより共に成長し、地域全体の発展に貢献していきたいと考えていますので綱島社会奉仕委員長を中心に八街ロータリークラブ全員で盛り上げていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

今年度は会員の減少がありましたので委員会構成表を見て貰えばわかりますが一会員が掛け持ちになっているところがあります。大変かと思いますがクラブ全員で力を合わせて乗り切りたいと思っております。

今日は鈴木ガバナー補佐がお見えになっておりますのでしっかりとお話しをお聞きしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

八街RC 8月 例会スケジュール	
8月 2日(水)	理事会・通常例会
8月 9日(水)	通常例会
8月16日(水)	休 会
8月19日(土)	ふれあい夏まつり
8月23日(水)	振替休会
8月30日(水)	休 会

【ご挨拶】 第10グループガバナー補佐 鈴木 孝様(白井RC)



第10グループガバナー補佐の鈴木孝と申します。お世話になっております。今日は初回のガバナー補佐訪問ですので自己紹介をさせていただきます。

昭和34年3月11日生まれ 64歳 白井RC所属 職業分類は 建設資材で主に生コンクリート製造販売です。入会は2001年3月で父の退会を期に入会致しました。

ロータリー歴は22年で、少人数クラブのさがと申しますか会長を3回、幹事を2回、日信委員、地区幹事等をさせて頂きました。白井市青少年海外派遣事業では中学生と共にオーストラリアに行きホームステイ等を体験し、また来日するオーストラリアの子供達や先生等を受入れてホームステイをしたり、ある時はロータリークラブが主催するチャリティークラシックラリーなどに友人や娘と一緒に参加してラリーを楽しんで参りました。一期一会を大切にし、お陰様の気持ちで取り組んで参りますので、会長、幹事、会員の皆様の地区への要望等がございましたら、地区と相談し解決していく所存でございますのでご協力の程宜しくお願ひ致します。まず大事な事は皆様のクラブが楽しく充実する事が何よりだと考えておりますので皆様のお力やお知恵をお借りして一年間頑張っ参りますので宜しくお願ひ致します。以上挨拶と致します。

【幹事報告】 幹事 小澤 孝延



◎インターアクト年次大会のご案内
日時：2023年8月22日(火) 10時30分より
場所：光英VERITAS中学校・高等学校 奏楽室

◎アンケートのお願い
・奉仕プロジェクト委員会(笹川会員)
・会員増強退会防止委員会(増田会員)

【クラブ協議会】 司会 川崎 堯信会員
＜管理運営委員会＞ 委員長 川崎 堯信

<S A A> 会場監督 福田 守



「例会の充実」と「会員増強」この2点は常にIMや地区研修での重要なテーマとなっております。それだけ各クラブ延いてはロータリークラブ全体にとっての課題であると言えます。当然、八街クラブにおいても例会の在り方や会員の増強は都度話し合われ、会員共通の認識となっておりますがなかなか結果や答えの出ない問題でもあります。会員一人ひとりには高い見識と問題意識を持ち、これからの八街クラブの姿を考えておられるのがよく分かるのですがクラブ全体の力として集約しきれていないのが現状かと思えます。またここへ来てDEI等新たな思想も浮上し、より一層研修の必要性和ロータリアンの高潔性が求められるようになってきました。

管理運営委員会では、そういった現状を踏まえ各委員会及び個々の会員の橋渡しとして会長・幹事をサポートし円滑なクラブ運営とクラブの強化に努めてまいります。

本年度SAAを仰せつかりました福田です。岩間会員と笠井会員の3名で担当致します。例会場の気品と風紀を守り、より楽しい雰囲気での会場運営を実現するため頑張りますので、皆様のご協力をお願い致します。

会場の設営については、会議所の岩間専務が委員におりますので協力しながら早めの設営に心がけます。参加者が円滑に例会を楽しむことができるような環境を整えることに努めます。

運営については、会長・幹事・プログラム委員と協力し、挨拶・報告・連絡事項・卓話等が静寂のうちに正確になされるよう配慮いたします。無駄話等あればベル等で注意させていただきます。ゲスト・ビジター来訪の際はあたたかくお迎えし、気持ちよく例会を楽しんでいただけるよう努めます。

昔と比べると会員数が大分減りましたが、新会員が皆と楽しく話し合へ、クラブに早く馴染んで頂けるよう努力致します。充実した楽しい例会作りがクラブの活性化に繋がり、会員増強にも繋がると確信しております。

ロータリーの理念に共感するパートナーとの連携を深め、相互の協力関係を築き、地域の団体や企業との連携を通じてロータリーを知って頂き、仲間を増やしたいものです。

<会 計> 担当 笠井 富雄



会計の役割は、クラブ活動に関する全てのお金の受入れ・支払いを厳正且つ公正に管理させて頂くことと考えます。

本年度も役員理事・各委員会・事務局と連携を図って適切に会計管理を行うとともに、結果について適宜ご報告させていただきます。

引き続き会員の方々のご指導・ご協力の程、よろしくお願い致します。

<親睦・プログラム> 委員長 川崎 堯信

《親睦》 旅行や移動例会、夜間例会を通じて会員相互の親睦を図る様企画を立案実施して参りたいと思います。

《プログラム》 会員皆様のご意見を伺いながら充実した例会を目指して参ります。

年間を通じ会の内外より卓話をいただくと共に、会員の職場訪問や移動例会を企画し会員相互の交流と理解を深める場を創ることに努めて参ります。またクラブ懇話会のような形でその時々テーマに基づきディスカッションが行えればと考えています。

自薦他薦を問いませんので、卓話や移動例会のご提案を頂けましたら幸いです。一年間よろしくお願いたします。

<会員増強・退会防止>

委員長 増田 繁



今般、コロナ禍及び諸物価高騰の影響を受けて地方経済は不況脱出と言うわけにはいかない現況です。その中での会員増強となりますと頑張っている元気な企業を探して入会を勧めていこうと思っています。それには会員皆様のご協力をお願いします。

私案ですが入会推薦カードを作って皆さんにご記入、推薦をいただき委員会で勧誘に行くという方法を取らせていただきたいと思います。又、会員増強も大事ではございますが退会防止も委員会の仕事です。出席して良かった、また出席したいという会、魅力のある会を親睦プログラム委員会と一緒に作っていききたいと考えております。

是非皆様のご協力をお願いします。

<広報・公共イメージ向上>

委員長 萬来 謙一



本年度は私と林委員と二人で担当いたします。よろしくお願いたします。

ホームページ、Facebook、Instagram等を活用していきます。4年ぶりの「八街ふれあい夏まつり」では、ポリオ撲滅キャンペーンを広報し、

ボックスを使って寄付活動を実施したいと思っています。会員にたいしては週報を発行し、クラブの活動状況や諸連絡などを掲載いたします。原稿の提出のご協力をお願いいたします。一年間よろしくお願いたします。

<社会奉仕>

委員長 綱島 清司



新型コロナウイルス感染症の影響により、この3年余り、行動制限を余儀なくされてきましたが、5月8日から感染症対応が、現在の2類から5類相当へと移行し、季節性インフルエンザと同等の扱いとなります。ただし当面の間は、感染症対策等に取り組みながら、徐々にかつての日常を取り戻して参りたいと思います。行動制限も大幅に緩和される事により、コロナ禍において当クラブで活動を断念していた八街市で開催されるふれあい夏まつりや産業まつり、歳末たすけあい募金等に参加を検討しております。

八街市、八街市社会福祉協議会等との協力関係を構築しながら、当クラブで社会に貢献できる最大限の活動を行って参ります。

<青少年奉仕>

委員長 笹川 英一



7月より青少年奉仕委員長ならびにインターアクト地区委員を拝命いたしました。本来でしたらロータリー財団委員長を終えて次の年は役職から外れることが出来たのですが、ここ2年で10名以上の退会者が出てしまい所帯が

小さくなったのと地区委員の灯を絶やすなとクラブ戦略計画にも明記してありますので今年度は二つ引き受けました。今年のふれあい夏祭りでは提唱クラブの千葉黎明高等学校のインターアクトクラブの生徒さんたちとエンドポリオ募金活動の計画があります。そのほかにも赤い羽根募金や歳末助け合い募金活動なども予定していますのでご協力よろしくお願いします。インターアクト地区委員会では3年ぶりに台湾への海外研修も計画していますのでこちらもぜひ参加よろしくお願いします。以上です。



<ロータリー財団> 委員長 竹村 信彦



今年度のロータリー財団委員長を拝命いたしました。寄付金をお願いするという非常にやりづらい仕事になりますが、ロータリー財団への寄付金は、クラブが将来活用することのできる資金のプールの場であるとともに、世界の様々な問題の解決のために活かされる支援資金になります。ロータリー財団の使命はロータリアンが世界の健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて理解・親善・平和を達成することです。2014年頃までロータリー財団の寄付目標金額は100ドルでした。今現在は150ドルになりましたが今こそ財団の力を発揮する時なのではないでしょうか。寄付は第2の奉仕とも言います。皆さんに理解していただけるように努力まいります。

<米山記念奨学会> 委員長 伊藤 嘉一

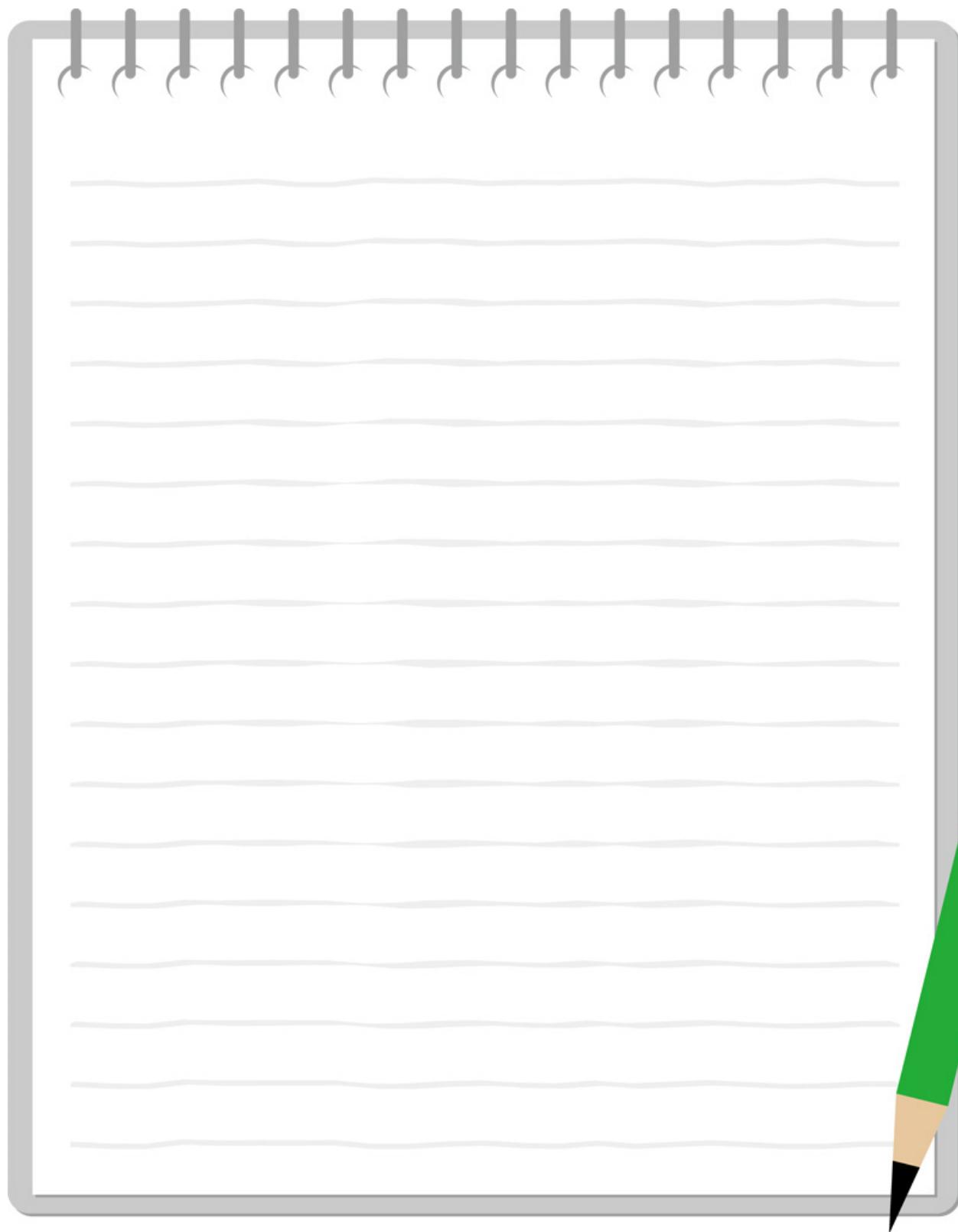
今年度の米山記念奨学委員会委員長の伊藤嘉一です。わたくしは八街ロータリークラブに在籍させていただき44年の月日が経ってしまいました。その間何もできなかったことを恥じており、本日お越しの鈴木ガバナー補佐さんの経歴をお聞きしまして感激を

いたして居るところであります。竹村財団委員長のとまたしてもご寄付の話になってしまいますがよろしく願いいたします。地区協議会での研修でも米山記念奨学会を理解するには奨学生の世話クラブになることだといわれましたが、幸いにしてわがクラブでは過去に7名の奨学生をお世話しております。ゆえに会員の皆様には米山記念奨学委員会を十分ご理解をしていただいていることと思います。2023年度は2790地区に29名の米山奨学生が誕生致しておりました。

本年度は31名に増員されたようです。先日7月8日に米山委員長セミナーが三井ガーデンホテルにて開催されました。当クラブの奨学生チャンさんも民族衣装を着てかわいらしく元気に参加をして紹介をうけておりました。米山奨学生は全員学友会に入会します。このセミナーではそのベテランで過去に学友会の会長を務められた陳瑤さんの卓話を拝聴しました。現在第5代の米山親善大使だそうです。聞きながらチャンさんの月初めにやられた卓話を思い浮かべました。満を期したチャンさんの卓話は決して引けを取らないな一と個人的には思いました。卓話をいただいたこの陳瑤さんも中国人です。実は受け入れる米山奨学生の筆頭はダントツで中国の方たちであります。中国には国情がらロータリークラブは存在しません。しかし米山奨学生はすべて学友会に入ります。この度3月28日に北京において中国政府の承認の上での中国学友会が正式に設立総会を開いたということでもあります。学友87名が北京に集い、わたくしたち以上に日本を理解しているものはないだろうと、最初から最後まで全てに日本語で運営されたそうです。まさに両国の懸け橋になってくれるものと思います。わたくしは現在日中友好協会の会員であります。「民の力で官を動かせ」というキャッチフレーズそのものであります。話はもとにもどります。ぜひ1万5千円以上のご寄付を米山奨学記念委員会に

お願いいたします。

※なぜ日本の学生に米山記念奨学金をださないのかという答えをお聞きしました。米山奨学記念制度は過去日本が多くの戦乱を引き起こし多くの国々に多大な迷惑をかけた罪の償いであり、また国と国の懸け橋の一助あるといたします。



広報・公共イメージ向上委員会・萬来 謙一・林 政男